

2025年度 第30回
国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技試験(論述) 問題用紙

実施日 ◆2025年11月2日(日)

試験時間 ◆14:30~15:20(50分)

★注意事項★

1. 逐語記録を読み、解答用紙の問いごとに記述してください。
2. 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。記載漏れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計(腕時計型ウェアラブル端末の使用は不可、音を発しないもの)、筆記具(鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)以外のもの(定規、メモ用紙、筆記用具入れ等)は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器及び電子機器は使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
9. その他、監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、監督員の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、監督員が解答用紙を回収しますので、着席したままお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験及び面接試験の両方とも合格基準に達することが必要です。
- 2025年12月17日(予定)に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、当協会のWebサイトに受験番号を掲載してお知らせします。
(<https://www.jcda-careerex.org/result/>)

厚生労働大臣登録試験機関
特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

設問

下記の【事例の前半(共通部分)】と【後半 A】、【後半 B】を読んで、以下の問いに答えよ。
(【後半 A】、【後半 B】は、同じ相談者(CL)、同じ主訴の下で行われたケースである)(50点)

相談者(CLと略)： Dさん、32歳 女性、四年制大学卒業
地方自治体職員 雇用推進課
夫(34歳)

キャリアコンサルタント(CC+と略)： 相談機関のキャリアコンサルティング専任社員

【事例の前半(共通部分)】

CL1：今の仕事をしていて、何か気持ちがスッキリしなくて相談にきました。

CC+1：今の仕事で気持ちがスッキリしないということですね。どういうことですか。

CL2：はい。今、仕事で、民間業者に若者の就職支援を委託している事業を担当しています。先日、その業者の代表や支援員の人たちから月末の実績報告をしてもらう会議をしていたのですが、それが終わってから何かスッキリしない思いが残っています。

CC+2：その会議でどんなことがあったのですか。

CL3：この事業は、就職してすぐ辞めてしまった若者や就職することに困難を感じている若者などを対象にして、支援員が若者とのコミュニケーションを取ったり、インターンシップを経験して就職意欲を高めてもらって、就職に結びつけようとする事業です。今年は2年目になりますので、就職した人数などの実績が求められています。

CC+3：そのことで何かあったということですね。

CL4：そうなんです。今月も就職数は目標値には達しておらず、支援員からその理由を聞いているとイライラしてきて、「成果の出ない事業なんてありえないですよ。」などと、きつい言葉使って高圧的に言っていました。自分は日頃穏やかな方だと思っているのに、そんな見下した言い方をしたことに、あれでよかったのかとモヤモヤしています。

【後半 A】

CC+4：この事業はDさんの自治体からその団体に委託しているのですよね。役所の担当者であるDさんが、できていないことをきつく問い詰めてもおかしくないですよね。

CL5：確かに立場的にはそうなんです。分かってはいるのですが、でも今回は何かしこりのようなものが自分の中に残ってモヤモヤしています。

CC+5：Dさんは、これまで民間業者に委託してそれを管理する経験はなかったのですか。

CL6：いえ、以前にも別の若者就職支援事業の広報を民間に委託する担当をしました。その時も納期が遅れそうになったのですが、こんな思いはしたことがないです。

CC+6：そうですね。ところで、その広報の事業も若者の就職支援関係と言われましたが、Dさんは若者の就職関係の仕事をすることが多いのですか。

CL7：そうですね。この部署に来てから、私は若者関係の仕事を担当することが多いですね。

CC+7：これまでの仕事でやりがいを感じられたことは、何かありますか。

CL8：え、やりがいですか？ んー、やりがいね。..それよりも、このモヤモヤをすっきりさせたいです。

(後略)

【後半 B】

CC+4: 見下した言い方をしたことによりモヤモヤしていると聞かれましたが、その時、どんなやり取りがあったのですか。

CL5: 支援員が、来談者の若者がなぜすぐ辞めてしまったのか、なぜ就活に意欲が出ないのかなど、一人一人の事情を説明してくれました。それを聞いて、すごく丁寧に関わってくれているなど思ったのですが、一方で就職させられなかったことの言い訳のように聞こえてきて、だんだん憤りが湧いてきました。

CC+5: Dさんはそれを言葉にされたのですよね。

CL6: はい。もっと工夫をして就職に結びつけないと成果が上がらないという気持ちが湧いてきてそう言ったのですが、そんな風に支援員を見下したような言い方をした自分ってなんなんだろうと思っています。

CC+6: 見下した言い方にモヤモヤするのは、何があるのでしょうか。

CL7: う～ん、そう言われれば、見下した言い方の奥に、何か妬みのようなものを感じます。

CC+7: 妬み? 何がそう思わせるのでしょうか。

CL8: う～ん、そうですね。どこか羨ましさがあったかもしれません。自分は一人一人を幸せにしたいと思って役所に入ったのに、これまで個別に関わる支援はできていず、支援員が丁寧に一人一人に関わっている様子を聞いて、嫉妬したのかもしれませんね。

(後略)

【問い 1】

事例の【後半 A】と【後半 B】ではキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。

【後半 A】と【後半 B】の対応の違いについて、下記の 5 つの語句(指定語句)すべてを使用して、解答欄に具体的に記述せよ(同じ語句を何度使用しても可。また語句の使用順は自由。解答用紙に記述する際には、使用した指定語句に必ずアンダーラインを引くこと)。(15 点)

指定語句

好意的関心 決めつけ 内省 気持ち 励まし

【問い 2】

あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動に基づいて、具体的に記述せよ。(20 点: 10 点×2)

①問題

②その根拠

【問い 3】

【問い 2】で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、相談者の成長に向けてどのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。(15 点)

解答

[問い 1]

[問い 2]

①問題

②その根拠

[問い 3]

注:解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。